

三日月鎌(みかづきがま)

ご使用にあたって

この度は、「三日月鎌」をお買い求めいただきありがとうございます。本製品は庭や畑等のやわらかい草を刈るために使う製品です。ご使用前に本書をよく読んで、正しく安全にお使いください。

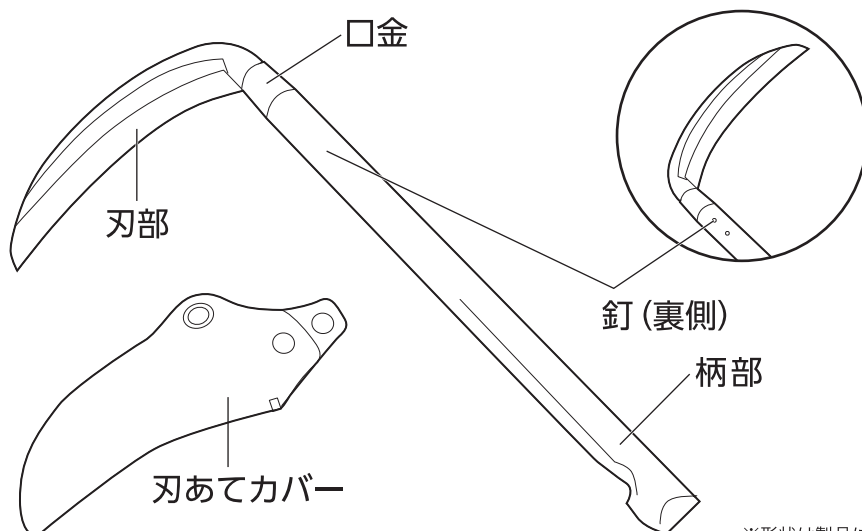
※下記に記載されているイラストはイメージです。実際の形状とは異なる場合がありますが、内容に関しては共通事項となっております。

安全にお使いいただくために

- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険が及ぶ可能性を防止するために、下記のように『注意』・『禁止』・『厳守』の3種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。
また、本製品は家庭用として開発されております。家庭用としてお使いください。
- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
- 本体表示の取扱いQRコードや注意事項のシールは剥がさないでください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お買求めの販売店又は(株)高儀にお問い合わせください。

 注 意	人が傷害を負う可能性及び 物的損害の発生が想定される内容
 禁 止	本製品を安全に使用するために、 してはいけない行為
 厳 守	本製品を安全に使用するために、 必ず実施していただく行為

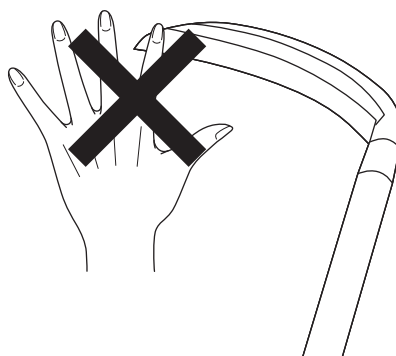
各部の名称



※形状は製品により異なります。

ご使用の前に

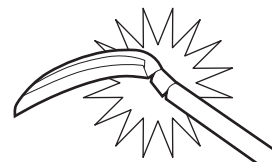
- 本書に記載されている用途以外には使用しないでください。
- 刃先を素手で直接触らないでください。
- 振り回さないでください。
- 火気に近づけないでください。
- 本製品を改造しないでください。
- 足元が不安定な場所で使用しないでください。
- お子様の手の届く場所に放置、保管しないでください。



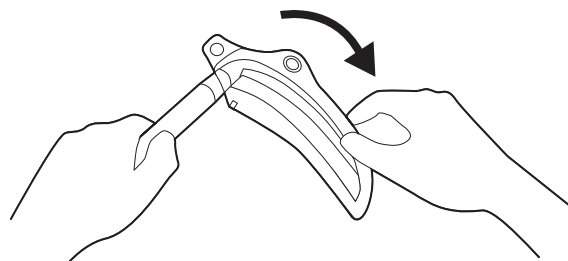
使用前の準備

！ 厳 守

- がたつきなど異常を感じた場合は、使用を中止し、お買い求めの販売店又は（株）高儀に相談してください。そのまま使用した場合、けがや器具破損の原因となります。

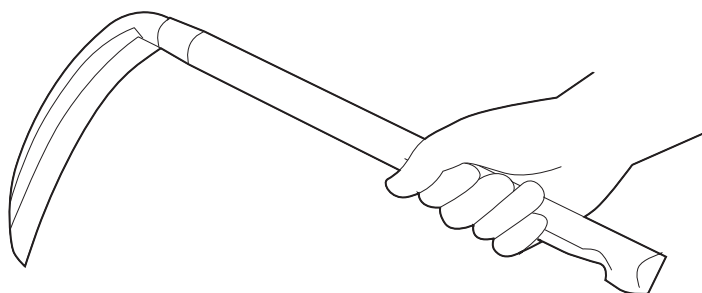


- 使用前に刃こぼれや、刃部の変形・歪み、接合部のがたつき、柄のひび等の異常が無いことを確認してから使用してください。
- 保管中に乾燥などにより柄にがたつきが出ることがあります。この場合は柄の釘をお手持ちの金槌などで打ち、がたつきを直してから使用してください。
- 刃あてカバーのボタンを外し、カバーをとります。刃あてカバーを外すときに刃で手を切らないように注意してください。



鎌の持ち方

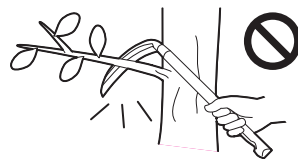
- 図のように利き手で柄をしっかり握ります。



使用方法

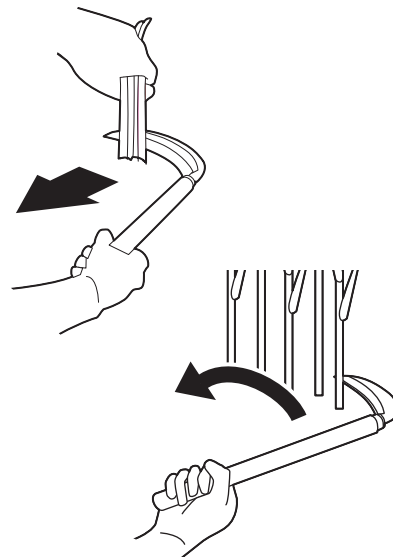
⚠ 注意 けがや破損の原因となります

- 周囲に人がいないことを確認してから使用してください。
- 雑木・木の枝、乾いた太く硬い草等には使用しないでください。
- 使用後に本製品を地面などに放置しないでください。



使い方1

- 1.片手で雑草をつかみます。雑草をつかむ手は、必ず親指が下になるようにします。親指を上にとすると手を切りやすいので注意してください。
- 2.刃先を根元にあて、地面に対して平行に引き切ります。ほんの少し遅らせて草を持つ手を手前に引くと楽に切ることができます。



使い方2

- 雑草の横から払うように切ります。

お手入れ・保管について

お手入れ

⊘ 禁止

- シンナーやベンジン等は使用できません。
- 金属製のたわしや研磨剤付きのスポンジ等は使用しないでください。傷などによりさびの原因になります。



- 1.使用後は、刃・柄の汚れを水で洗い流してください。
- 2.汚れがひどい場合は、たわしやブラシ等を使い、水で洗い流してください。
- 3.その後、水分を乾いた布などでしっかりと拭き取ってください。
- 4.さび防止のため刃部全体にさび止め油やミシン油を塗ってください。



保管

- お手入れ方法に従った後、刃当てカバーや布等で刃部全体を覆って風通しの良い・直射日光の当たらない、お子様の手の届かない場所に保管してください。

■長くご使用いただくために・・・

長く使用していくと切れ味が鈍ってきます。鈍ってきたら砥石で研ぐと切れ味が復活し、長くご使用いただけます。